事業名	11100 管きよ建設事業費			会計	4	下水道事業特別会計	4//	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市	Г
尹未1	音でよを放子未見		予	款	1	下水道事業費	総合	基本分野	5	基盤·安全			一 長	
		内線	算	項	1	下水道施設費	計	分野	5	上下水道	実施計画事業	公共下水道管きょ建設事業(特別会計)	公	
担当記	水道部 下水道課	2267		目		管きょ建設事業費	画	施策概要		下水道施設の整備	H27実施計画額	千円	約	

安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラスト ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各 種公共施設の整備を進めます

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象)		ごうしたい のか	・下水道の利用ができ快適な生活環境を整備	概	事業の実施	・老朽化したマンホール蓋を計画的に更新する
B	対象者数	63,159 人	(意図)	・ドル垣の利力がくこ大型は土石球先と定開	要	手法(手段)	・下水道接続の希望者に対し、下水道本管までの管きよ整備を行う

2 事業の推移・結果(Do)

	H25		寺町ほか公共下水道処理区域内の管きょ整備 ホール蓋の更新整備						
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	活	下水道整備面積		ha	目標値	2	1	0	0
	動指	1. 小垣歪哺曲作	i.	IId	実績(見込)	3	2	0	
	標	算出根拠等			達成率(%)	150	200		
	成	下水道整備率		%	目標値	100	100	100	100
	果指	下小垣歪哺牛		70	実績(見込)	100	100	100	
	標	算出根拠等	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯数	汝	達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
					実績(見込)				
成		算出根拠等			達成率(%)				
果					目標値				
面					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	事業コストの縮減を念頭に、下水道未整備地区の解消に向け、下水道整備計画区域の見直し、浄化槽整備区域への変更を検討する
	担	0	維持·改善	
次	当課		拡大	・老朽化したマンホール蓋の計画的な更新
年度			縮小	* を打ししたマンホール盖の計画的な契制
σ	曲		廃止検討	
美	_	0	維持·改善	
方	次		拡大	(担当課評価に同じ)
針	評価		縮小	(世当終計画に同じ)
			廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	76,576	71,692	28,278	81,850
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,211	1,135	448	1,296
	受益者	公共下水道処理区域内の市民	(B)	63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

	事業費(人件費除<)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	28,068	81,850	53,782	66,274	66,274		
87	国庫支出金	7,500	33,480	25,980	25,000			
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	地方債	13,200	38,600	25,400	35,400	35,400		
1	その他	7,368	9,770	2,402	5,874	5,874		

事業:	処理場建設事業費		会	計	4 下水道事業特別会計	4/3	基本目標 5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市	安全に暮らせる環境づくり
尹未*	20. 工程	-	ş #	款	1 下水道事業費	一	基本分野 5 基盤·安全	++-1-+	0.4.7.4.7.10.70.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10.10	長	・市内の業界・企業の皆さんと協力し
		内線	Į	項	1 下水道施設費	計	分野 5 上下水道	美	公共下水道処理場建設事業費(特別会計)	公	ラクチャー(道路・上下水道・情報など
担当	水道部 下水道課	2971	F	目	2 処理場建設事業費	画	施策概要 5 下水道施設の整備	H27実施計画額	千円	約	種公共施設の整備を進めます

カして、地震や災害に強い住宅やインフラスト などを始めとした都市の基盤となる施設)、各

1 事業の目的・概要(Plan)

E	1	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	どうしたいのか	・耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の機器の更新及び延命化を行	概	事業の実施	・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器を計画的に更新を行うとともに長寿命化工事を実施する
Á	3	対象者数	63,159 人	(音図)	い、処理場の機能維持を図る	要	手法(手段)	・呂川於不処理場のそれにして、改鵬及い機器を計画的に関制を行うとこむに反対的に上手を実施する

2 事業の推移・結果(Do)

_	・長寿命化工事(送風機)を実施 ・汚泥波量化のための消化槽増設工事を実施 ・処理場管理棟の耐震補強工事に着手											
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27			
	活	設備の改作	x	件	目標値	6	6	3	1			
	動指	水闸の以	*	"	実績(見込)	6	6	3				
	標	算出根拠	登備の更新及び長寿命化工事の件数 2		達成率(%)	100	100	100				
	成	物流水の	k質基準適合処理場	施設	目標値	1	1	1	1			
	果指)JX //IL/JK 02/	N. 其坐牛地 日 22 年 物	//Eax	実績(見込)	1	1	1				
	標	算出根拠	ル等 水質検査の結果		達成率(%)	100	100	100				
					目標値							
					実績(見込)							
成		算出根拠	D.等		達成率(%)							
果工					目標値							
面					実績(見込)							
		算出根拠	D.等		達成率(%)							
					目標値							
					実績(見込)							
		算出根拠	D.等		達成率(%)							
					目標値							
					実績(見込)							
		算出根拠	D.等		達成率(%)							
	補足											

3 分析·評価(Check)

平成25決算における 分析・評価で 明らかになった課題・・下水道事業整備5か年計画は ・施設は供用開始から時間が	分析・評価で	・下水道事業整備5か年計画に・施設は供用開始から時間が新
---	--------	---

に基づき設備の更新は計画的に行っている 経滅し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直していく必要がある

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・設備の更新及び長寿命化工事については、5か年計画に基づき計画通り進めている ・老朽化している設備の稼働状況の把握に努めている ・次期の下水道事業整備5か年計画を策定するため、設備の現状と稼動状況を把握するとともに、維持管理している現場の意見を取り入れ、効率的な維持管理方法の検討を行う	
	担	0	維持·改善		
b			拡大	・計画的に長寿命化工事等を実施する	
年度	- π		縮小	四川に区が中に上ずせと大肥する	
σ	曲		廃止検討		
美		0	維持·改善		
7.	次		拡大	(担当課評価に同じ)	
金	評価		縮小		
	Щ		廃止検討		

コスト面

コハー国						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A)	262,479	507,816	735,500	41,205
711 (17.5		受益者1件当たり(円) (A/B)	4,151	8,040	11,645	652
	受益者	公共下水道処理区域内の市民 (B)	63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

業 実 ・効率的かつコストを抑えた実施計画の策定 ・国からの補助金の確保 課 題 ・宮川終末処理場の老朽化した設備、機器の更新及び長寿命化 第2期長寿命化計画の推進

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方			
	歳出(千円)	693,700	693,700 41,205 \triangle 652,495 4		40,000	40,000					
87	国庫支出金	377,100	20,500	△ 356,600	20,000						
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり			
内	地方債	281,900	18,400	△ 263,500	18,000	18,000					
1	その他	34,700	2,305	△ 32,395	2,000	2,000					

本 类	12100	特定環境保全管きょ建設事業	8		会計 4 下水道事業特別会計	4/	基本目標 5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	#	ウムー等とは7厘はベル
尹未	香枝	付足環境体主旨でよ歴政争未	`	予	款 1 下水道事業費	給	総 基本分野 5 基盤·安全 —	中作社画事業	特定環境保全下水道管きょ建設事業(特別会計)		安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラスト
+0 14	===	よく マー・・ 学 冊	内線	算	項 2 特定環境保全下水道施設費	計画	計 分野 5 上下水道	74,00 H 7 7 H		公	ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
担当部	市木	水道部 下水道課	2267		目 1 管きょ建設事業費		施策概要 5 下水道施設の整備	H27実施計画額	千円	16.7	性公共地設の定備を進めより

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 対象者数	特定環境保全公共下水道処理区域内の 市民 14,307 人	どうしたい のか (音図)	・下水道の利用ができ快適な生活環境を整備	概要	事業の実施 手法(手段)	・国府処理区及び栃尾処理区の下水道未普及地区に下水道管きょを布設する
----	----------------	-------------------------------------	---------------------	----------------------	----	-----------------	------------------------------------

2 事業の推移・結果(Do)

ı	H25		町今地区内の管きよ整備 弾温泉郷神坂地区内の管きよ整備に伴う道路舗装	整備					
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	活	下水道整備面積		ha	目標値	3	3	2	6
	動指	1. 小坦亚洲 四节	ŧ.	ria	実績(見込)	3	3	2	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成	下水道整備率		%	目標値	96	96	97	97
	果指	下小垣歪脯平		70	実績(見込)	95	96	96	
	標	算出根拠等	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯数	数	達成率(%)	99	100	99	
					目標値				
					実績(見込)				
成		算出根拠等			達成率(%)				
果					目標値				
面					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足	•							

3 分析·評価(Check)

平成25決算における 分析・評価で	・各地域の市民ニーズは高いが、下水道利用には個人での宅内排水整備費用が必要となり、高齢者世帯、資金不足を理由に下水道切り 替えに至らないケースがあるため、将来的な維持管理に係る自己負担額の比較や融資制度の説明をして下水道接続率を上げる必要があ z
明らかになった課題	。 ・地区によっては事業費がコスト高となり、受益者負担とのパランスが取れていないが、処理区域全体の下水道接続率を上げることにより 事業効率を上げる必要がある

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・単年度単位では事業費と受益者負担とのバランスが取れていないが、下水道利用が可能となった箇所の接続率を上げる
	担	0	維持·改善	
2	_			・下水道整備する上で、事前に住民の下水道接続同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める
自	午 転 縮小		縮小	「「小足を帰する工で、予例に住民の「小足」文献问念と何で、を帰るハーと考えながつ事業と進める
0			廃止検討	
ラか		0	維持·改善	
j	次		拡大	(担当課評価に同じ)
£	評		縮小	(担当旅計画に同じ)
	Ш		廃止検討	

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出 (千円)	(A)	107,828	113,654	200,665	373,894
211.00		受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,444	7,944	14,026	26,134
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

事 *特定環境保全公共下水道処理区域における管きょの整備 でおり、できま、布設工事
・管きょ、布設工事
・管きょ、布設工事
・管きょ、布設工事

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	200,665	373,894	173,229	233,278	233,278		
87	国庫支出金	86,000	164,226	164,226 78,226		107,000		
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	地方債	101,000	174,600	73,600	110,700	110,700		
1	その他	13,665	35,068	21,403	15,578	15,578		

業名 番枝	特定環境保全処理場建設事業	費	会計款	4 下水道事 1 下水道事		基本目標 総 基本分野		マンドルで快適に住めるまち 全	根拠計		市長	安全に暮らせる環境で		地震や災害に強い	住宅やインフラス
当課	水道部 下水道課	内線	項	2 特定環境係	呆全下水道施設費	計分野	5 上下水道	Í	実施計画		公	ラクチャー(道路・上下 種公共施設の整備を通	水道・情報などをタ	始めとした都市の基	盤となる施設)、
二 訴	小坦即 下小坦林	2267	目	2 処理場建設	投事業費	施策概要	5 下水道旅	施設の整備	H27実施計	画額 千F	9 67	住立六池成の走崩され	E074 9		
事業の目的・	概要(Plan)														
誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の 市民	どうしたい						10	T *** o th	-					
サ色本数	14.307 人	のか (意図)	·下水道(の利用ができ快	適な生活環境を整備			根	事業の実施 手法(手段		計画を策定	≧し、老朽化した設備や機	器の更新を計画的	内に実施する。	
対象者数	14,307 🔨	(/6:42)													
事業の推移・	結果(Do)								分析·評価(€	Check)					
									可 せんだん 年 によい	+7					
H25実績	特定環境保全公共下水道4処理区の基本	K計画の見直し							平成25決算におり 分析・評価で						
	指標名		単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27	明らかになった説	米 麹					
活				目標値	1124	1120	1120	7							
動 第1期長到	导命化工事		施設	実績(見込)				4	- 今後の方向性	±(Action)					
標算出根	処等		1	達成率(%)											
				目標値					課題等に対する H26対応状況						
				実績(見込)					11207316-1770						
算出根	処等		1	達成率(%)					. 0#++	7. ×					
	•			目標値					担維持						
				実績(見込)				り	当 拡大 課 縮小						
算出根	処等			達成率(%)				I.S.	一						
				目標値					維持						
				実績(見込)				抗	次 拡大						
算出根	処等			達成率(%)				â â	, V						
				目標値					価 廃止	検討					
AT 11.40	an Arte			実績(見込)											
算出根持	处寺			達成率(%)				-	スト面						
				実績(見込)						事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
算出根持	机等			達成率(%)					자	歳出(千円)		(A) 0	0	0	16,25
補	~ 0								指標	受益者1件当たり(円)	(A/		0	0	1,13
足									受益:	者 特定環境保全公共下水道処理区域内の市民		(B) 14,485	14,307	14,307	14,30
														l I	
予算編成(Ad	etion2)														
					要					事業					
					の					実					
·特定環境保全	と公共下水道処理場長寿命化計画の策定	2			ポーイ	•特定環境保全公	公共下水道処理:	場長寿命化計画策定に要す	る経費を計上	施					
					ュ					課					
					۲					題					

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	0	16,254	16,254	20,000	20,000		
8:	国庫支出金		5,718	5,718	10,000			
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	地方債			0				
副	その他		10,536	10,536	10,000	10,000		

	事業名	21100	一般管理費			会計	4	下水道事業特別会計	6//	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根	视計画		±	ウムに替されて神体ベル
		番枝	一放音座員		予	款	2	総務費	総合	基本分野	5	基盤·安全				長	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地
ı				内線	算	項	1	総務管理費	計	分野	5	上下水道	実施	計画事業	公共下水道施設管理事業(特別会計)	公	ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始め
	担当課	水道	部 下水道課	2264	F	A P	1	一般管理費	画	施策概要	_		H27写	実施計画額	千円	約	種公共施設の整備を進めます
				2204		П		双百柱貝		旭米地安	7	水ルにの自及					

、地震や災害に強い住宅やインフラスト ・始めとした都市の基盤となる施設)、各

1 事業の目的・概要(Plan)

	a	誰を(対象)	公共下水道、特定環境保全公共下水道 処理区域内の市民	どうしたいのか	・下水道の受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収する ことで収入の確保を図り、安定した下水道事業の運営を行う	事業の実施	・受益者分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う
Ē	'n	対象者数	77,466 人	(意図)	・整備した施設の有効利用と使用料収入が確保できるよう、水洗化の普及を促進しできるだけ多くの市民 に下水道を使用してもらう	手法(手段)	・下水道接続率の向上のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と下水道の利用促進をすすめる

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	実績	·上下.	道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料の 水道課が連携を図り、水道料金、下水道使用料の 化啓発文書の送付、個別訪問等による水洗化普及 続世帯へのアンケート調査を実施	滞納整理					
				指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	成	エルベキ	*	者分担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	果指	下小坦争	未又加	1. 有万担亚现年及权附举		実績(見込)	92	97	95	
	標	算出根	拠等	収納額/調定額		達成率(%)	92	97	95	
	成田	下水消車	* 四 五	者負担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	果指	下水趋争	***	11 只是亚统千尺权例年	70	実績(見込)	98	99	96	
	標	算出根	拠等	収納額/調定額		達成率(%)	98	99	96	
	成	下水消体	田利韭	2年度収納率	%	目標値	100	100	100	100
	果指	下水道区	титы	14.及4.积4	70	実績(見込)	99	99	99	
成	標	算出根	拠等	収納額/調定額		達成率(%)	99	99	99	
果	活動	下水道接	结弦		%	目標値	100	100	100	100
面	判指	下水趋势	197C-4-			実績(見込)	86	87	88	
	標	算出根	拠等	下水道に接続した世帯数/下水道が使える世帯	数	達成率(%)	86	87	88	
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
						目標値				
						実績(見込)				
		算出根	拠等			達成率(%)				
	補足									

3 分析·評価(Check)

分析・評価で	・恒常的な未納者に対し、電話連絡、給水停止、滞納処分などを行うとともに、期限内に納付するよう指導する必要がある・委託の内容等を見直し、さらに縮減できるよう努める必要がある・下水道接続率を向上させるため、未接続の要因分析を行うとともに、接続率の低い地域に対して普及活動を行う必要がある

4 今後の方向性(Action)

				·					
			対する 5状況	期的に滞納整理を実施するとともに、下水道使用料に関しては、上水道課と連携を図り、給水停止を実施しながら徴収強化を図ってい 託業務については、総合行政システムの導入に際し、業務の効率化、費用の縮減ができるよう対応する 水道等の管きょ布設は、下水道事業の趣官説明を十分に行ったうえで、地域で確実に接続していただける状況であることを確認してか 江する の地域と比較して、下水道への接続率が低い地域を重点的に、戸別訪問による啓発活動を行う					
	莊	0	維持·改善						
次	当課		拡大	・課題について分析等を行うとともに、継続して事業を実施する					
年度	評		縮小	「旅館にプリーマで1」プログロス、松桃のレビ学术を失肥する					
の	価		廃止検討						
実施	_	0	維持·改善						
方	次		拡大	・収納率向上に努める必要がある。					
針	評価		縮小	・整備済地域の水洗化率向上を図る必要がある。 					
	ш		廃止検討						

コスト面

		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	99,572	92,488	101,752	140,869
211 103		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,281	1,194	1,314	1,818
	受益者	処理区域内の市民	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466

5 予算編成(Action2)

・事業の運営に係る一般経費及び負担金等の賦課・徴収や水洗化普及に係る経費を計上 ・税率改正による消費税の増 ・分担金・負担金及び使用料の賦課・徴収や水洗化普及に係る事務 ・未水洗化世帯への普及啓発と滞納等への対応による収入の確保

	事業費(人件費除<)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	法出(千円) 101,962 140,869 38,907 134,890 134,890								
87	国庫支出金			0				・財務部査定のとおり		
源	県支出金			0			・積算内容を精査			
内	地方債			0						
哥	その他	101,962	140,869	38,907	134,890	134,890				

3	1業名	22100 管きょ管理費			会計	4	4 下水道事業特別会計		基本目標 5 5		安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画		Г
-		番枝		콗.	款	2	総務費		基本分野	5	基盤·安全			- E	
			内線			2	下水道施設管理費	뒭	分野	5	上下水道	実施計画事業	公共下水道施設管理事業(特別会計)	公公	
#	旦当課	水道部 下水道課	アリ形状		快	۷	1. 小垣肥政日任員	画		5				約	
1,		226			目	1	管きょ管理費		施策概要		下水道施設の整備	H27実施計画額	千円		4

安全に募らせる環境づくり 女主に春らせる環境 スペッ ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラスト ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各 種公共施設の整備を進めます

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	E(対象)	公共下水道処理区域内の市民	どうしたい のか	・下水道の利用ができ快適な生活環境を整備	概	事業の実施 手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う
BS	対象	象者数	63,159 人	Code comp	・ドル垣の利用がてご区圏な工冶球光で変調	要	手法(手段)	「自財でマンホールバンノのた効的がも制宜、月前、床で点便と失心し、必安に心して吟稿と1]ノ

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	実績 · 管	ンホールボンブの清掃・保守点検 12回 (1回/月) 路施設カメラ調査 L=3,145m きょ侵入水止水修繕 N=46箇所						
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	活	→ >.+ + ++	ンプの清掃・保守点検		目標値	12	12	12	12
	動指	マンホールホ	ププの清掃・床寸点検 	Ш	実績(見込)	12	12	12	
	標	算出根拠等	1回/月	•	達成率(%)	100	100	100	
	成	フ` ++- !! +*	ンプ故障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0	0
	果指	マンバールバ	ンノ収降寺によるパ外の加山	117	実績(見込)	0	0	0	
	標	算出根拠等	汚水の流出件数		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
成		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
成果一					目標値				
面					実績(見込)				
		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等	<u> </u>	-	達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等	<u> </u>		達成率(%)				
	補足								

3 分析·評価(Check)

トールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があり、汎用品への切り替えが必要となる

4 今後の方向性(Action)

				対する 5状況	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
		苗	0	維持·改善	
2	Κ.	当課		拡大	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
全	₽.	評		縮小	・コスト船線を図りていて、成政政順の修繕と政順の傲性寺の変更以修との比較を打い政順の長寿叩化に労のる
0	Ď	価		廃止検討	
	起	1	0	維持·改善	
7	5	次		拡大	(担当課評価に同じ)
Ē		評価		縮小	\1と⇒除町 1〜 1)♥/
		100		廃止検討	

コマト面

一八一						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円) (A)	48,700	53,220	53,367	69,090
		受益者1件当たり(円) (A/B)	770	843	845	1,094
	受益者	公共下水道処理区域内の市民 (B)	63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

・ 公共下水道処理区域の管きよ、マンホール及びマンホールポンプの維持管理 ・テレビカメラ調査等不明水調査

・施設の維持管理に必要となる委託料、修繕料等を計上 ・国県道の道路改良舗装に合わせたマンホール改修及び嵩高調整 ・管路調査に加え、宅内排水設備からの雨水等、不明水の流入状況調査

・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施 ・サンプル調査・拡大及び詳細調査を実施し、調査後の改善対策工事につなげる

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方		
	歳出(千円)	53,367	69,090	15,723	53,367	53,367				
財	国庫支出金			0						
源				0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり		
内	地方債			0						
計	その他	53,367	69,090	15,723	53,367	53,367				

#	業名	22200	処理場管理費			会計	4 下水道事業特別会計	445	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市	安全に暮らせる環境づくり
7		番枝	龙座有百座 真		予	款	2 総務費	総		5	基盤・安全	= 佐計画車業	公共下水道施設管理事業(特別会計)		・市内の業界・企業の皆さんと
+6	担当課		水道部 下水道課	内線	算	項	2 下水道施設管理費	計画	分野	5	上下水道			公约	ラクチャー(道路・上下水道・情 種公共施設の整備を進めます
72	出际		水垣部 下水垣床	2971		目	2 処理場管理費		施策概要	5	下水道施設の整備	H27実施計画額	類 千F		性五六池成の走端と延めより

んと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラスト ・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各

1 事業の目的・概要(Plan)

E	nin nin	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	・施設(処理場)の適切な運転管理を行うことにより汚水が適正に処理され、公共用水域の水質保全と快 適に暮らせる生活環境が確保されている	概	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的におこる修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う
Ĥ	3	対象者数	63,159 人	■に書うとるエス塚現が職体でおいている ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	要	・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	実績	・宮川終末終末処理場において、処理水は排水基・委託業者の定期的な保守点検作業により機器等		理停止もなく、道	適切な汚水の処理を	を行った		
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	成田	故流水の)水質基準適合処理場	施設	目標値	1	1	1	1
	果 放流水の 指		/小貝坐牛胆口だ任物	加巴拉	実績(見込)	1	1	1	
	標	算出根	拠等 水質検査の結果		達成率(%)	100	100	100	
	成果物质		・、停電等による水処理不能件数		目標値	0	0	0	0
	果指	没怕的	、伊电寺による小だ柱中部下数	件	実績(見込)	0	0	0	
	標	算出根	拠等 事故報告件数		達成率(%)				
					目標値				
			Att 11 10 to the		実績(見込)				
成		算出根	拠等		達成率(%)				
成果工					目標値				
面					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
			·		目標値	_			
					実績(見込)				
		算出根	拠等		達成率(%)				
	補足	・通常の約	維持管理業務のほか、突発事故(停電、機器故障)	発生時には速や	かに対応した				

3 分析·評価(Check)

平成25決算における 分析・評価で 明らかになった課題
明らかになった課題

機器の修繕にあたってはコストの縮減に努めているが、設備数が多く、突発修繕が多く発生している状況である 計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト縮減を図る必要がある

4 今後の方向性(Action)

				対する 5状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト縮減に向けた事業提案を促している
		担	0	維持·改善	
	欠	当課		拡大	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく。
1		評		縮小	・ 一元
(カ	価		廃止検討	
1	実施	_	0	維持·改善	
1	方	次		拡大	・処理場の適切な管理運営を継続するとともに、施設の延命化に努め、コストの縮減を図る必要がある。
Ś		評価		縮小	・ だけ物と思えたのでは、1.0cc 01cc、心臓などはも10cc 200、コンドの組織を図る必要がある。
		lmi .		廃止検討	

コスト面

コハー曲							
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	238,914	243,841	268,452	287,268
712 177		受益者1件当たり(円) (A/	B)	3,778	3,861	4,250	4,548
	受益者	公共下水道処理区域内の市民	B)	63,232	63,159	63,159	63,159

5 予算編成(Action2)

宮川終末処理場の維持管理 ・施設の維持管理に必要となる光熱水費、委託料等を計上 ・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施及び修繕と更新の的確な判断

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	268,452	287,268	18,816	272,259	272,259		
財	国庫支出金	0						
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	地方債			0				
哥	その他	268,452	287,268	18,816	272,259	272,259		

車業々	** *** *** *** *** *** *** *** *** ***				会計	4	下水道事業特別会計	611	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち		根拠計画	高山市下水道整備5か年計画	市	安全に暮らせる環境づくり
サネカ 特技 特技			予	款	2	総務費	総合	総 合 基本分野		5 基盤·安全		W-1 Tab #			・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震	
4m vv 4m		1.44.45 — 1.44.55	内線	算	項	3	特定環境保全下水道施設管理費	計	分野	5	上下水道	美	:他訂凹爭果		公	ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始め
担当課		水道部 下水道課			目	1	管きょ管理費	Ш	施策概要	5	5 下水道施設の整備		7実施計画額	領 千円		種公共施設の整備を進めます

地震や災害に強い住宅やインフラスト 台めとした都市の基盤となる施設)、各

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を	(対象) 特定環境 市民	保全公共下水道処理区域内の	どうしたい	・下水道の利用ができ快適な生活環境を整備	概	事業の実施 手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う
B	対象	者数	14,307 人	Code comp	・ド小垣の利用がていた地でエルスを空間	要	手法(手段)	「自財でマンバールバンノのた効的な問題、用語、床で点便と失慮し、必要に応して診聴され」ノ

O **********

		実績・マンホ	ールポンプの清掃·保守点検 12回 (1回/月)						
			指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	活	マンナーリ ポンゴ	の清掃・保守点検		目標値	12	12	12	12
	動指	マンホールホンフ	00/月卅- 床寸点恢	ı	実績(見込)	12	12	12	
- 1	標	算出根拠等 1	回/月		達成率(%)	100	100	100	
	成	マンホールポンプ	。 な障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0	0
	果指	() // // // // // // // // // // // // /	以降 中に かる パパッグ 川田	П	実績(見込)	0	0	0	
1	標	算出根拠等	汚水の流出件数		達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
成		算出根拠等			達成率(%)				
果面					目標値				
田					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
			·		目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
i	補足								

3 分析·評価(Check)

平成25決算における ・器具の老朽化により、マンホールポンプの遠隔監視システムの不具合が発生しているため、低コストとなるシステム改良が必要となる 分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

			対する 5状況	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
	担	0	維持·改善	
2			拡大	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
左	= = =		縮小	一个 一部級と回っていい工で、MCK以順の移信に以順の放任すの名式以移との比較と110 改進の反対印制に方のも
0	一曲		廃止検討	
ラか		0	維持·改善	
J	次		拡大	(担当課評価に同じ)
£	評価		縮小	(担当旅計画に同じ)
	亘		廃止検討	

コスト面

-7 TI III	4						
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト指標		歳出(千円)	(A)	28,063	32,820	32,573	39,130
711 113		受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,937	2,294	2,277	2,735
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

・施設の維持管理に必要となる委託料、修繕料等を計上 ・国県道の道路改良舗装に合わせたマンホール改修及び嵩高調整 ・特定環境保全公共下水道処理区域の管きょ、マンホール及びマンホールポンプの維持管理 ・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	32,573	39,130	6,557	32,768	32,768		
8:	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	地方債			0				
副	その他	32,573	39,130	6,557	32,768	32,768		

事業	23200	特定環境保全処理場管理費			会計	4	下水道事業特別会計	40	基本目標	5	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市下水道整備5か年計画 - 古	ウムー等とルファルベノロ
尹未	番枝	行足環境休主观座場首座員	-	予	款	2	総務費	総合	基本分野	5	5 基盤·安全	中华社画市業		安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強
			内線 1	算	頂	3	特定環境保全下水道施設管理費	計	分野	5	5 上下水道	美 施訂凹争来	特定環境保全下水道施設管理事業(特別会計) 公	ラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の
担当	里	水道部 下水道課	P 3 498		24	Ů	刊是媒先体主「小是池故旨在員	画)] ±1	v	0 エーバル		_{壬円} 約	種公共施設の整備を進めます
12.3	*	小追叩 1 小追床	2971		目	2	処理場管理費	-	施策概要	5	5 下水道施設の整備	H27実施計画額	千円 ***	

に強い住宅やインフラスト 市の基盤となる施設)、各

1 事業の目的・概要(Plan)

E	誰を(対象) 特定環境保全公共下水道処理区域内の 市民	・施設(処理場)の適切な運転管理を行うことにより汚水が適正に処理され、公共用水域の水質保全と快 適に暮らせる生活環境が確保されている	既 事業の実	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的におこる修繕に対応し、継続して汚水の 処理を行う
Ĥ	対象	者数 14,307 人	・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	要 手法(手段	・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	・各施設において、処理水は排水基準内であった ・委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の記	故障による処	理停止もなく、道	適切な汚水の処理を	を行った		
		指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
	成	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	10	10	10	10
	果指	成派外の小員基準適合処理場	他政	実績(見込)	10	10	10	
	標	算出根拠等 水質検査の結果	•	達成率(%)	100	100	100	
	成田	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0	0
	果指	及師以呼、 ア电子 ころの小だ柱 一把 下奴		実績(見込)	0	0	0	
	標	算出根拠等 事故報告件数		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
成		算出根拠等		達成率(%)				
成果工				目標値				
面				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足	・通常の維持管理業務のほか、突発事故(停電、機器故障)発生	上時には速や	かに対応した				

3 分析·評価(Check)

平成25決算における
明らかになった課題

・機器の修繕にあたってはコストの縮減に努めているが、突発修繕も多く発生している状況である
・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕簡所を減らし、コスト縮減を図る必要がある

4 今後の方向性(Action)

		に対する 応状況	,	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト縮減に向けた事業提案を促している
担		維持・	改善	
次年		拡大		・施設の適切な管理運営を継続して行っていく
年度評	ì	縮小		
の一価	i 🗆	廃止	針	
実施二		維持 ・	改善	
施 一 次		拡大		・処理場の適切な管理運営を継続するとともに、施設の延命化に努め、コストの縮減を図る必要がある。
針評		縮小		*・处理場の適切な管理連名を終続するとこもに、他故の進印化に劣め、コストの軸線を凶る必要がある。
価		廃止村	負討	
				•

コスト面

1/1 国							
		事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
コスト 指標		歳出(千円)	(A)	181,288	185,408	201,691	218,351
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,516	12,959	14,097	15,262
	受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	14,485	14,307	14,307	14,307

5 予算編成(Action2)

・施設の維持管理に必要となる光熱水費、委託料等を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託 ・特定環境保全公共下水道処理区域の処理施設10カ所の維持管理 ・施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

	事業費(人件費除<)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	201,691	218,351	16,660	202,898	202,898		
87	国庫支出金			0				
源	県支出金			0			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
内	地方債			0				
Ð	その他	201,691	218,351	16,660	202,898	202,898		

車者	3	地方債元金			会計	4 下水道事業特別会計	4//5	基本目標 5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市
77	番札	地力误儿並		予	款	3 公債費	合	^総 基本分野 5 基盤・安全	実施計画事業	長
4E 1	, =m	1.25 60 - 7.1.25 60	内線	算	項	1 公債費	計画			公 44
担当	11本	水道部 下水道課	2971		目	1 元金	刯	施策概要 5 下水道施設の整備	H27実施計画額	千円 料

1 事業の目的・概要(Plan)

	7 F F F F	19 1905-4 (1 1-11)					
目的	誰を(対象	公共下水道、特定環境保全公共下水道 処理区域内の市民77,466 人	(首図)	・地方債に係る元金の償還	概要	事業の実施 手法(手段)	

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	実績						
		指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
		·		目標値				
				実績(見込)				
成		算出根拠等	•	達成率(%)				
成果面		·		目標値				
面				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
		·		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
	補足							-

3 分析・評価(Check)

成25決算における 分析・評価で	
らかになった課題	

4 今後の方向性(Action)

_+	71	χV),) III II (ACI	aon,
	課題 H2	直等に 26対応	:対する 応状況	
	担		維持·改善	
次			拡大	
年度	評		縮小	
の	価		廃止検討	
実施			維持·改善	
方	次		拡大	
針	評価		縮小	
	1		廃止検討	

コスト面

Ξ	コスI ⁻ 面									
			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額		
	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	1,589,175	1,530,840	1,508,083	1,495,178		
			受益者1件当たり(円)	(A/B)	20,448	19,761	19,468	19,301		
		受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466		

5 予算編成(Action2)

_ 0	予算編成(Action2)		
事業内容	・下水道施設整備に伴い起こした地方債の元金償還	要求のが、地方債に係る元金の償還インント	事業実施の課題

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
	歳出(千円)	1,508,083	1,495,178	△ 12,905	1,495,178	1,495,178			
Ą	国庫支出金			0					
7	旧士山ム			0			・要求どおり	・財務部査定のとおり	
P	地方債			0					
ā	その他	1,508,083	1,495,178	△ 12,905	1,495,178	1,495,178			

本 *	31200	地方債利子			会計	4 下水道事業特別会計	6//	基本目標 5 安全で安心して快適に住め	るまち	根拠計画	市	
尹未	番枝	25万萬刊丁		予	款	3 公債費	総合	基本分野 5 基盤・安全		実施計画事業		
中日本	·#	ナスカ エナス語	内線	算	項	1 公債費	計画	分野 5 上下水道			公约	
担当	*	水道部 下水道課	2971		目	2 利子	1	施策概要 5 下水道施設の整備		H27実施計画額	千円 ***	

1 事業の目的・概要(Plan)

		.,	M2 (* 12.1)					
Ē	誰	を(対象)対象者数	公共下水道、特定環境保全公共下水道 処理区域内の市民 77,466 人	(首図)	・地方債に係る利子の償還	概要	事業の実施 手法(手段)	
	, A.	外日奴	77,400 人	(AEX MEA)				

2 事業の推移・結果(Do)

	H25	実績						
		指標名	単位	目標·実績	H24	H25	H26	H27
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等	•	達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
成		算出根拠等		達成率(%)				
果				目標値				
面				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足							

3 分析·評価(Check)

「成25決算における 分析・評価で 月らかになった課題		

4 今後の方向性(Action)

	7 15	20//	グIPII主(ACI	4017
			対する 5状況	
	担		維持·改善	
次	当課		拡大	
次年度	評		縮小	
の	価		廃止検討	
実施	Ξ		維持·改善	
方	次		拡大	
針	評価		縮小	
	ш		廃止検討	

コスト面

	コハー国							
			事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	コスト 指標		歳出(千円)	(A)	551,041	515,102	487,173	456,330
	711 177		受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,090	6,649	6,289	5,891
		受益者	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	(B)	77,717	77,466	77,466	77,466

5 予算編成(Action2)

<u> </u>	予算編版(Action2)		
事業内容	・下水道施設整備に伴い起こした地方債の利子償還	要 求 の が ・ 地方債に係る利子の償還 イント	事業実施の課題

	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	487,173	456,330	△ 30,843	456,330	456,330		
財	国庫支出金			0			・要求どおり	- 財務部査定のとおり
源	県支出金			0				
, 	地方債			0				
哥	その他	487,173	456,330	△ 30,843	456,330	456,330		